資料１

第3次光市環境基本計画の取組状況について
（令和7年度）

令和8年10月
光市環境政策課

目　　次

第3次光市環境基本計画の取組状況の評価について　・・・・・・・・・・・・・・・・　1

●未来のために今変える　ライフスタイル転換プロジェクト　・・・・・・・・・・・・・・・・　2

●未来のために今挑む　脱炭素推進プロジェクト　・・・・・・・・・・・・・・・・　4

●未来のために今学ぶ　環境学び創造プロジェクト　・・・・・・・・・・・・・・・・　7

第３次光市環境基本計画の取組状況の評価について

第３次光市環境基本計画を着実に推進するため、計画の具現化を先導する政策として実効性が求められるリーディングプロジェクトについて、ＰＤＣＡサイクルに基づく進行管理を行うため、年度終了時点での取組状況の評価を行います。

１　評価の方法

３つのリーディングプロジェクトごとに、次の項目について示し、計画の進捗状況を把握します。なお、取組状況を踏まえた次年度の取組についても合わせて示します。

（１）取組状況及び今後の方向性

- 「具体的取組」に掲げる項目ごとに、担当部局における当該年度の取組実績を示します。
- 取組の裏付けとなる客観的データとして、事業の実施量等を示します。
- 当該年度の評価や市としての方向性等を踏まえ、次年度における取組を示します。

（２）数値目標

- 成果指標として示す項目について、当該年度における近況値及び進捗率[注1]の数値を示します。
- 成果指標のうち、「環境市民アンケート」で把握した満足度などの指標については、アンケート実施時に限り近況値を示します。

注１：**進捗率の算出方法**

【進捗率（％）】＝（近況値－策定時）÷（目標値－策定時）×１００

未来のために今変える　ライフスタイル転換プロジェクト

●取組の方向

地球温暖化対策をはじめ、自然敬愛都市や循環型社会の実現を進めていくためには、市民一人ひとりが環境問題を我が事として捉え、考え、行動に移すことが重要となります。そのため、環境に配慮した行動が、どれだけ温室効果ガスの排出削減等に貢献しているかを知ることができる「見える化」や、環境に関する様々な情報発信に加え、市民の自発的な行動を促進するための支援を行い、市民の誰もが、日頃から環境に配慮した「賢い選択」や「無駄なものを発生させない行動」等を率先して行うライフスタイルへの転換を促進していきます。

●取組状況及び今後の方向性

具体的取組	環境に配慮した行動を促すためのスマートフォンアプリ活用の検討 ／環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・県の環境アプリを活用することとし、県のアプリへの市実施イベント情報の掲載とともにアプリの周知を行った。	・県の環境アプリを活用することとし、県のアプリへの市実施イベント情報の掲載とともにアプリの周知を行う。

具体的取組	環境に配慮した行動を促すためのポイント制度創設の検討／環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・県の環境アプリで実施しているポイントキャンペーンの参加を促すための周知を行った。 ・家庭におけるエコ活動や電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」について、夏季、冬季の2回実施した。 ●参加世帯数：夏季115世帯 冬季141世帯	・県の環境アプリで実施しているポイントキャンペーンの参加を促すための周知を行う。 ・家庭におけるエコ活動や電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」について、実施時期など一部メニューを見直し、実施する。

具体的取組	環境ラベルの周知・啓発による環境にやさしい製品等の利用促進／環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・環境に配慮した行動例などを分かりやすく記載したガイドブック「エコスタイルガイドブック」とともに環境ラベルの周知を行った。	・環境に配慮した行動例などを分かりやすく記載したガイドブック「エコスタイルガイドブック」とともに環境ラベルの周知を行う。

具体的取組	「エコスタイルガイドブック」作成／環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・「エコスタイルガイドブック」の周知啓発に努めた。 ・小学生向けの「光市エコスタイルガイドブック（小学生版）」について、市内小学校に対し授業での活用の依頼を行った。 ・「光市エコスタイルガイドブック（小学生版）」を活用した環境学びの場を提供した。	・「エコスタイルガイドブック」の周知啓発に努める。 ・小学生向けの「光市エコスタイルガイドブック（小学生版）」について、市内小学校に対し授業での活用の依頼を行う。 ・「光市エコスタイルガイドブック（小学生版）」を活用した環境学びの場を提供する。

具体的取組	ノーマイカー運動の推進／環境政策課・公共交通政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・温室効果ガス排出量の削減と日常的なバス利用者の拡大を図るため、市内で乗降するバス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を毎月月末金曜日に実施した。	・温室効果ガス排出量の削減と日常的なバス利用者の拡大を図るため、市内で乗降するバス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を毎月月末金曜日に実施する。

具体的取組	食品ロスの削減／環境事業課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・市のホームページやごみ分別アプリを活用し、食品ロスの削減が食品の処分に係るエネルギーの削減や可燃ごみの減量・処理経費の削減につながることの周知を行った。 ・フードバンク山口ひかりステーションと協力し、ひかりふるさとまつりでのフードバンクポストの設置、協力店の紹介を行った。	・市のホームページやごみ分別アプリを有効に活用し、食品ロスの削減がエネルギーの削減や可燃ごみの減量につながることの周知を行う。 ・フードバンク山口ひかりステーションと協力し、ひかりふるさとまつりでのフードバンクポストの設置、協力店の紹介を行う。

●数値目標

成　果　指　標	策定時	近況値	目標値（R9）	進捗率
①　家庭からの温室効果ガス排出量（t－CO2）	70,000 (R1)	65,000 (R5)	47,675	22.4%
②　省エネルギーに心がけている人の割合（%）	85.2 (R3)	81.9 (R7)	95.0	△33.7%
③　省エネ性能の優れた製品や、環境に配慮した製品・サービスを優先的に選ぶ人の割合（%）	64.6 (R3)	—	75.0	—
④　自動車を控えて徒歩、公共交通機関や自転車を利用している人の割合（%）	40.0 (R3)	—	50.0	—
⑤　海洋ごみの原因の一つであるプラスチック製品の使用・購入を減らす人の割合（%）	66.1 (R3)	—	70.0	—
⑥　リサイクル率（%）	27.5 (R3)	27.1 (R7)	35.5	△5.0%
⑦　1人1日当たりのごみの排出量（g）	942 (R3)	860 (R7)	860以下	100.0%
⑧　食品ロスを減らす人の割合（%）	83.2 (R3)	—	87.0	—

※近況値出典：①環境省推計値　②まちづくり市民アンケート　③～⑤,⑧環境市民アンケート
⑥⑦環境事業課

未来のために今挑む　脱炭素推進プロジェクト

●取組の方向

本市における脱炭素化の推進に向け、再生可能エネルギーや環境に配慮した製品等の導入促進を図り、全市を挙げて温室効果ガス排出削減の取組を進めるとともに、森林の保全や木材の活用など、二酸化炭素の吸収源対策を推進します。
また、地域の一事業所として、市が率先して脱炭素化に取り組むことで、市域全体の温室効果ガス排出削減に寄与していきます。

●取組状況及び今後の方向性

具体的取組	ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）※の導入促進／環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・民生部門における脱炭素化を推進するため、環境に配慮したZEH住宅の普及啓発を図った。	・民生部門における脱炭素化を推進するため、環境に配慮したZEH住宅の普及啓発を図る。
具体的取組	高断熱リフォームなどの省エネ住宅の導入促進／環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・民生部門における脱炭素化を推進するため、住宅への脱炭素化に資する設備の設置に対するエコスタイルサポート補助事業を行った。 ●補助件数 LED照明設備：68件	・民生部門における脱炭素化を推進するため、住宅への脱炭素化に資する設備の設置に対する家庭用LED照明買替サポート補助事業を行う。
具体的取組	環境に配慮した製品の導入促進／環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・家庭の脱炭素化を推進するとともに、令和9年末に蛍光灯の製造が禁止されるため、計画的なLED照明設備への交換を促すエコスタイルサポート補助事業を行った。 ●補助件数 LED照明設備：68件	・家庭の脱炭素化を推進するとともに、令和9年末に蛍光灯の製造が禁止されるため、計画的なLED照明設備への交換を促す家庭用LED照明買替サポート補助事業を行う。
具体的取組	市遊休地を活用した太陽光発電設備の導入の検討／財政課・環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・太陽光発電設備の設置可能な土地を検討した。	・新たに売却可能となった土地について、売却や貸付とともに、太陽光発電設備の設置が可能な土地ではないか、引き続き検討を行う。

具体的取組	次世代自動車の導入促進／環境政策課・関係各課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器が故障し、修理不可だったため撤去した。 ・次世代自動車の導入促進に向けた方法を検討した。	・次世代自動車の導入促進に向けた方法を検討する。

具体的取組	再生可能エネルギーを含んだ電気契約への切替の推進 ／行政経営室・環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・「環境」、「料金」の両面から再生可能エネルギー由来の電力への切替を検討した。	・引き続き、「環境」、「料金」の両面から再生可能エネルギー由来の電力への切替を検討する。

具体的取組	森林環境税等を活用した民有林等の整備の推進／農林水産課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・森林管理の適正化等のための森林所有者の意向調査を実施した。 ・私有林の施業を行う者に対し事業費の一部を補助し、間伐等の森林整備を推進した。（森林整備促進事業補助金） ●補助件数 間伐等促進支援事業　20.01ha	・施業を実施していない森林の所有者を対象とした意向調査を実施し、間伐等の施業や森林経営計画への参画を促す。 ・間伐や作業道の補修等に対する補助を行い、民有林等の整備を推進する。（森林整備促進事業補助金）

具体的取組	県産木材利用促進策の検討／環境政策課・農林水産課・関係各課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・県産木材に触れ、その良さを体感してもらう機会を創出することにより、木材の地産・地消機運を高めるため、公共施設の設備を県産木材により木質化した。 ●木質化設備 中学校（1校）：下駄箱12台	・木の良さを知ってもらい木材の利用促進に対する機運の醸成を図るため、公共施設における各種設備の木質化など、多くの市民が木と触れ合う機会の創出に努める。

具体的取組	「市役所等が行う温室効果ガス排出量の削減に向けた取組」の推進 ／環境政策課・関係各課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・職員に対し取組の周知を図り、市の事務・事業から排出される温室効果ガス排出量の削減に努めた。	・市の事務・事業から排出される温室効果ガス排出量の削減に努める。

※「快適な室内環境」と「年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下」を同時に実現する住宅

●数値目標

成　果　指　標	策定時	近況値	目標値（R9）	進捗率
①　市域全体からの温室効果ガス排出量（t－CO2）	2,077,000（R1）	1,975,000（R5）	1,842,000	43.4%
②　次世代自動車を導入している人の割合（%）	34.8（R3）	―	45.0	―
③　公用車における次世代自動車の割合（%）	7.2（R3）	8.0（R7）	14.0	11.8%
④　省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度（%）	27.7（R3）	―	70.0	―
⑤　広葉樹林の面積（ha）	2,229（R2）	2,238（R7）	2,262	27.3%
⑥　森林・緑地の二酸化炭素吸収量（t－CO2）	13,700（R3）	13,717（R7）	13,806	16.0%
⑦　市の事務・事業から排出される温室効果ガス排出量（t－CO2）	12,692（R1）	8,214（R7）	9,500	140.3%

※近況値出典：①環境省推計値　②④環境市民アンケート　③財政課　⑤農林水産課
⑥⑦環境政策課

未来のために今学ぶ　環境学び創造プロジェクト

●取組の方向

「自然敬愛都市宣言のまち」として、次代を担う子どもたちの自然を敬う心を育むとともに、地球温暖化や循環型社会などについて学び、考え、一人ひとりが問題の解決に向け率先して行動していけるよう、小学生、中学生、高校生に対する環境学習を推進します。
また、新しい生活様式に対応したICT機器等を活用した学習方法等の開発や、世代に応じた自然体験学習や環境学習の場の創出に努めます。

●取組状況及び今後の方向性

具体的取組	ICT※機器に対応した環境学習教材の調査・研究 ／環境政策課・学校教育課・関係各課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・教科等の学習で活用できる環境学習に関するデジタルコンテンツを含めた多様な教材を活用する授業づくりについて調査・研究を行った。 ・「光市エコスタイルガイドブック（小学生版）」を環境学習教材としてタブレット端末で活用できるよう、小学校に対し授業での活用の依頼を行った。	・教科等の学習で活用できる環境学習に関するデジタルコンテンツを含めた多様な教材を活用する授業づくりについて調査・研究を行い、実践していく。 ・「光市エコスタイルガイドブック（小学生版）」を環境学習教材としてタブレット端末で活用できるよう、小学校に対し授業での活用の依頼を行う。

具体的取組	自然敬愛精神を育む自然体験学習の推進／環境政策課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・小学生を対象に森や川といったフィールドにおいて遊びを通した自然体験学習会「ひかりエコくらぶ」を2回実施した。 ●参加者数：40人	・市内のフィールドを活用した「ひかりエコくらぶ」を実施し、自然体験機会を創出する。

具体的取組	SDGsや地球温暖化の影響等を学ぶ環境学習の推進 ／環境政策課・学校教育課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・市内の小学校を対象に地球温暖化について学ぶ出前授業「ひかりエコスタイル推進事業」を実施した。 ●受講数:2校 ・市内の中学校・高等学校を対象に企業などの環境に関連した取組などを学ぶ出前授業「ひかり環境未来塾」を実施した。 ●受講数 中学校：1校 高等学校：1校 ・市民を対象に環境に関する学びの場となる「エコスタイルセミナー」を2回実施した。 ●受講者数：延べ54人 ・各教科や総合的な学習の時間等において、身近な自然との関わりのなかで、自然環境を大切にし、持続可能な社会をつくることの重要性について考えるといった環境学習に地域の協力等を得ながら取り組んだ。	・市内の小学校を対象に地球温暖化について学ぶ出前授業「ひかりエコスタイル推進事業」を実施する。 ・市内の中学校・高等学校を対象に企業などの環境に関連した取組などを学ぶ出前授業「ひかり環境未来塾」を実施する。 ・市民を対象に環境に関する学びの場となる「エコスタイルセミナー」を2回実施する。そのうち1回を子どもを対象とした講座とする。 ・各教科や総合的な学習の時間等において、身近な自然との関わりのなかで、自然環境を大切にし、持続可能な社会をつくることの重要性について考えるといった環境学習に地域の協力等を得ながら取り組む。

具体的取組	世代に応じた環境関連講座、講演会等の推進 ／環境政策課・環境事業課・地域づくり推進課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・小学生を対象とした「ひかりエコくらぶ」や「ひかりエコスタイル推進事業」、中学生や高校生を対象とした「ひかり環境未来塾」、一般市民を対象とした「エコスタイルセミナー」など、幅広い世代の人々が学べる機会の創出に努めた。 ・出前講座（環境関係講座数4件）を2回実施し、市の施策や制度、事業内容等について市民の皆様の市政に対する理解を深めた。	・「ひかりエコくらぶ」や「ひかりエコスタイル推進事業」、「ひかり環境未来塾」、「エコスタイルセミナー」の実施などにより、各世代に応じた学習機会の創出に努める。 ・出前講座（環境関係講座数4件）を実施し、市の施策や制度、事業内容等について市民の皆様の市政に対する理解を深める。

具体的取組	森林体験学習の推進／農林水産課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・小中学生を対象に、森の働きについて学び、木の良さに触れ合う森林体験学習を実施した。 ●件数 室積小学校3、4年生（校内体験型）：各1件 室積中学校2年生（校内体験型）：1件	・森林体験学習を開催することにより、森林が有する公益的機能や、同機能の維持・向上に必要な森林整備等について、市民の理解を深める。

具体的取組	光の「海」を学ぶ環境学習の検討／環境政策課・環境事業課
令和7年度の取組状況	令和8年度の取組
・小中学生を対象に実施された、地引網体験等を行う「光の海の体験プロジェクト」において、主催者とともに、環境学習を行った。 ●参加者数：80人	・地引網体験等を行う「光の海の体験プロジェクト」において、主催者とともに、環境学習を行う。

※　通信を使ってデジタル化された情報をやりとりする技術

●数値目標

成　果　指　標	策定時	近況値	目標値（R9）	進捗率
①　自然体験学習・環境学習等の開催数（回）	73 (R1)	38 (R7)	80	△500.0%
②　自然体験学習・環境学習等の参加者数（人）	4,943 (R1)	1,251 (R7)	5,300	△1034.2%
③　自然保護や環境保全活動へ参加したいと思う人の割合（%）	27.9 (R3)		38.0	
④　自然とのふれあいの機会の多さに関する満足度（%）	66.8 (R3)	—	85.0	—
⑤　森・川・海など自然とふれあう人の割合（%）	55.4 (R3)	—	65.0	—
⑥　テレビや新聞・雑誌、インターネット等で環境に関する情報を見る人の割合（%）	64.4 (R3)	—	75.0	—

※近況値出典：①②環境政策課　③～⑥環境市民アンケート